

令和4年1月17日

安堵町長 西本 安博 殿

安堵町総合計画・総合戦略推進委員会
委員長 中山 徹

第5次安堵町総合計画・第2期安堵町まち・ひと・しごと創生総合戦略について（答申）

令和3年3月18日付で諮問のありました標記の件について、当委員会において慎重に審議を重ね、下記のとおり意見を添えて答申します。

なお、本委員会の審議前より新型コロナウイルス感染症の影響により私たちの日常が大きく変わりました。町としてこれまでの価値観などが変わるこの機会を契機として、新しい発想と柔軟な対応により、住民をはじめ事業者や住民活動団体などの多様な主体と共同して町の将来像である「小さくてもキラリ光る活力あふれるまち あんど」の実現に向け、強いリーダーシップを発揮され、全力で取り組んでいただくことを要望します。

記

- 1 本計画の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の感染状況をはじめとして社会経済情勢が急速に変化する場合において、その動向に注視するとともに、住民等のニーズを的確に把握し、状況に応じて柔軟な事業実施に努められたい。
- 2 町の将来像を共有し実現するため、地域の活力となるべき人材を育成するとともに、住民・事業者が主体となって活躍できるよう協働して施策を推進されたい。
- 3 人口減少を克服するため、これまでの価値観を尊重しつつも、それに捉われない新しい発想をもって、持続して住民が快適で安心して暮らせるまちづくりに努められたい。
- 4 限られた資源・財産を有効に活用するため、近隣市町村をはじめ、県、国との連携を図り、事務の広域化、施設の共同設置・利用などの手法により事業の展開を図られたい。
- 5 町の将来像の実現を図るため、各種施策の進捗と効果を適切に管理し、その結果を住民に周知し、説明責任を果たされたい。また、当初の計画に固辞せず、社会経済情勢に応じて施策を見直すなど柔軟に対応されたい。

以上